

小山田小学校 SE 国語の授業づくり 「読む」「書く」の場面における各学年の手立て 2 学期

学年	単元・教材	「読む」手立て	「書く」手立て
1 年	「うみのかくれんぼ」	<ul style="list-style-type: none"> ・問いと答えや場所や隠れ方について色分けをし、教科書に線を引き、視覚的に分かりやすくする。(構造と内容の把握ア) ・3つの海の生き物を比べやすいように、本文を1ページにまとめたワークシートに、色分けの線を引く。(構造と内容の把握ア) ・写真と文章のつながりを大切にする。(構造と内容の把握ア) ・問いと答え・場所・隠れ方を確認するため、問い役と答える役に分かれて言いあうなどの活動を毎時間行う。(精査・解釈ウ) ・隠れている生き物の隠れていく過程をさし絵で確認し、本文と照らし合わせる。(精査・解釈ウ) ・前に出た海の生き物と比べながら学習を進める。(精査・解釈ウ) ・隠れている生き物の隠れ方が分かるように、本文で確認した後、イメージしやすいように動画を見る。(精査・解釈ウ) ・3つの海の生き物それぞれの隠れ方や場所について簡単にまとめる。(精査・解釈ウ) ・3つの海の生き物を比べて、気づいたことや感想を出し合う。(考えの形成オ) ・自分が紹介したい海の生き物について、名前と場所と隠れ方について色分けの線を引き、分かったことを交流する。(共有) ・文章を読み、海のかくれんぼクイズを作り、調べた海の生き物について分かったことを伝え合う。(言語活動ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いと答えや場所や隠れ方について色分けをし、教科書に線を引き、視覚的に分かりやすくする。(題材の設定 情報の収集 内容の検討ア) ・3つの海の生き物それぞれの隠れ方や場所について必要な言葉を簡単にまとめる。(題材の設定 情報の収集 内容の検討ア) ・自分が選んだ海の生き物について、隠れ方や場所について簡単にまとめる。(題材の設定 情報の収集 内容の検討ア) ・文型を掲示し、視覚的に文末表現を理解しながら、主語や述語に気を付けられるようにする。(構成の検討イ) ・「うみのかくれんぼ」と同じように名前・場所・隠れ方の事柄でまとめ、主語や述語に気を付けて文章を書く。(考えの形成 記述ウ) ・調べた海の生き物についてを発表し交流する。(共有オ) ・自分の発表や他者の発表についての感想を書く。(共有オ) ・魚について説明する文章を読み、場所や隠れ方の分かったことを書く。(言語活動ア)
2 年	<p>「馬のおもちゃのつくりかた」</p> <p>「おもちゃの作り方をせつめいしよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に興味・関心を持たせるため、1度簡単な手順を書く。そこから感じた「よい説明書、読みたくなる説明書」とは？を学級で共有する。共有した視点を持たせたまま範読を聞く。(構造と内容の把握ア) ・実際に本文を読みながら馬のおもちゃ作りを経験することで、学級全体で経験の土台をそろえる。(精査・解釈ウ) ・工夫ごとに色分けして線を引かせる。その色と同色の短冊を使用し、板書を書く。(精査・解釈ウ) ・セルフチェックシートを使用し、友だちの文章の良いところを視覚的に理解しやすくすることで共有しやすくする。(共有力) ・セルフチェックシートを使用し、各時間の要点を一覧にすることで、言語活動の時には話し合う視点が整理されている。(言語活動ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・作りたいおもちゃを自己決定させる。(題材の設定 情報の収集 内容の検討ア) ・馬のおもちゃ作りを経験することで、文章を分かりやすくする工夫について経験を通して気づくことができる。(題材の設定 情報の収集 内容の検討ア) ・工夫ごとに色分けした付箋を使用し、視覚的に理解を促す。(考えの形成 記述ウ) ・セルフチェックシートを使用し、自分の文章を推敲しやすくする。(推敲エ) ・例文を使用し、比較して考えさせることで考える視点が整理され思考しやすくなる。(言語活動ア)

<p>3年</p>	<p>「すがたをかえる大豆」 「食べ物のひみつを教えます」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「初め」「中」「終わり」の構成や、「中」に書かれている具体的な例を確認し、ワークシートにまとめる。(構造と内容の把握ア) ・「おいしく食べるくふう」と「食品」を色分けして線を引き、構成が視覚的にわかりやすくなるようにする。(精査・解釈ウ) ・段落がくふうごとに分けられていることを確認し、段落の一文目に大事な文があることに気付けるようにする。(精査・解釈ウ) ・写真が文章のどこを示しているのかを線でつなぎ、写真の役割に気づくことができるようにする。(精査・解釈ウ) ・「すがたをかえる〇〇」の本を用意し、他の食品にも興味を持てるようにする。(考えの形成オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ食品について、「おいしく食べるくふう」と「食品」を図や表で整理する。(題材の設定 情報の収集 内容の検討ア) ・「中」の部分の説明する順番を決め、図や表に丸や番号をつける。(構成の検討イ) ・教師の例文を示して全体で話し合うことで、「一つの段落に一つのくふう」「中心となる文がはじめ」「つなぎ言葉」「れいのじゅんじょ」など必要なポイントに気付けるようにする。(構成の検討イ) ・ワークシートや掲示物、答えに赤線を引いた教科書でふり返る。(考えの形成記述ウ) ・自分の調べたくふうや例が、教科書の例のどれに当てはまるか考える。(考えの形成 記述ウ) ・チェックシートを用意し、自分で文章を読み返しやすくする。また友だちと文章を読み合って確認する。(推敲エ) ・作った食べ物のひみつブックを読み合い、①書き方のよいところ②内容のよいところを伝え合う。(共有オ) ・筆者の説明の工夫を見つけ、食材について説明する文章を書く。(言語活動ア)
<p>4年</p>	<p>「世界にほこる和紙」 「伝統工芸のよさを伝えよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えが、「初め」「終わり」に書かれている総括型の説明文であることを確認する。(構造と内容の把握ア) ・つなぎ言葉などに着目して色分けして線を引かせる。(精査・解釈ウ) ・筋道を立てて考えさせるために →「ワークシートを用い「はじめ・中・おわり」で文章を捉え、全体の構成を確認する。(構造と内容の把握ア) ・自分の考えをもたせるために →「ワイワイタイム」で話し合う機会を多くとり、つなぎ言葉やポイント、要点を考える際に、隣や周りの人と考えを共有する。(考えの共有) ・情報を取捨選択したり関連付けて考えたりするために →「百科事典での調べ方」を読み、百科事典の使い方を知る。(考えの形成オ) どのような事例が何を説明するために述べられているのか、写真の提示の工夫と合わせて考える。(構造と内容の把握) ・中心となる語や文を見つけて要点をまとめ、200字で要約する。(精査・解釈) ・図書館を利用して事典や図鑑などから伝統工芸についての情報を得て、分かったことをまとめて説明する。(言語活動ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸品一覧から、気になるものを調べて、どれについて書くのかを決める。(題材の設定 情報の収集 内容の検討ア) ・自分の考えを持たせるために →教師の例文を示す。 →資料から伝統工芸のみりよくとその理由、事例を見つける。(構成の検討イ) ・筋道を立てて考えさせるために →双括型(結論→理由→結論)で説明文がなっていることをおさえ、自分の考えを伝えるために構成を考える。(構成の検討イ) →セルフチェックのできる作文用紙を用意し、自分で文章を読み返しやすくさせる。(推敲エ) ・情報を取捨選択したり関連づけて考えたりするために →ロイロノートのシンキングツールを使い、自分の考えをまとめることができるようにする。みりよくを選び、それに合った理由と事例を考える。(考えの形成 記述ウ) →ロイロノートの提出箱で、シンキングツールを使ってそれぞれがまとめた考えを共有する。(みりよく、理由、事例)(共有オ) ・それぞれの書いたリーフレットを読み合い、よかった部分などを付箋に書く。(言語活動ア)

<p>5年</p>	<p>「固有種が教えてくれること」</p> <p>「グラフや表を用いて書こう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が伝えたいことを本文の言葉を使って書き、資料があることの良さについて考える。(構造と内容の把握ア) ・筆者の主張が書かれている段落をもとに、筆者が伝えたい部分を読み取ることで要旨をまとめる。(精査・解釈ウ) ・グループ内で読み合い、気づいたことを伝え合う。(共有力) ・資料から読み取れる内容について、グループで伝え合い検討させる。(言語活動ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある文章を作成していくために、自分の考えに1番近い資料を選択させる。(題材の設定 情報の収集 内容の検討ア) ・教科書の文例をもとに、どのような構成で文章を書いていくのかを確認させる。(構成の検討イ) ・文章を書くためのポイントを提示し、段階的に文章を書くことができるようにする。(考えの形成 記述ウ) ・書くためのチェックポイントをもとに、文章を検討させていく。(推敲エ) ・作成した文章をロイロノートに提出して、共有できるようにする。(共有オ) ・自分の考えに近い資料を根拠に、自身の考えを相手に分かりやすく伝えるための文章を作成する。(言語活動ア)
<p>6年</p>	<p>「『鳥獣戯画』を読む」</p> <p>「日本文化を発信しよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『鳥獣戯画』の絵を自分なりに説明し、筆者の説明と比較する。(考えの形成オ) ・「筆者の着眼点」に注目しながら、筆者の一番言いたい主張が最後にまとめられている「尾括型」の説明文であることを確認する。(構造と内容の把握ア) ・絵を説明している文に線を引かせ、それに対応している絵の部分に印をつけることで筆者の表現の工夫を知る。(構造と内容の把握ア) ・筆者が『鳥獣戯画』を評価している部分に着目させ、筆者の主張を明確にさせる。(精査・解釈ウ) ・筆者の主張とそれを支える工夫を考える。(論の展開・表現・絵の示し方)(精査・解釈ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットにしたい日本文化の題材を個人で調べ、班で何にするかを検討する。(題材の設定 情報の収集 内容の検討ア) ・選んだ日本文化を、どのような内容を中心にパンフレットにまとめていくか話し合う。(構成の検討イ) ・筆者の表現の工夫から、自分のパンフレットの説明に使いたい表現を見つける。(考えの形成 記述ウ) ・チェックシートを活用し、「表現の工夫ができているか」「説明文と写真や絵が対応しているか」「主張に対しての根拠を2つ書けているか」を確認する。(推敲エ) ・他の班のパンフレットを読み合う。(共有オ) ・お互いのパンフレットの良さや工夫されていると感じたことを伝え合う。(言語活動ア)
<p>なかよし</p>	<p>「運動会へ来てほしい気持ちを伝えよう」</p>	<p>「書く」手立て (内容の検討ア)</p> <p>*練習日記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習の様子を写真や動画にとって今日したことや整理や頑張りを自分で気づけるようにする。 ・練習後に今日の練習で頑張ったことや気持ちを言葉で表してホワイトボード等に記録して残し、毎日振り返ることができるようにする。 ・したことを日記帳に毎日書き込めるよう、項目を設定したり、返事を書いて頑張りを自覚できるようにしたりする。 <p>(構成の検討イ)</p> <p>*招待状の見本を作成(構成の検討イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・招待状に必要な項目を3つ(宛名・見どころ・招待の言葉)設定する。 ・自分たちはどういう招待状を書くかを選びやすくするため、3種類の見本を用意してそれぞれの発達に合わせた招待状の内容に取り組みやすくする。上記の項目は全員入れ、そこへ頑張ったことや気持ち、気持ちの変化を書き加えられるような例文を示す。 	

(考えの形成 記述ウ)

*練習の流れ表(練習写真を順番に並べて頑張りや気持ちを話し合う)

- ・自分たちの演技写真を見ることで、技をしている時の気持ちを思い出せるようにする。
- ・練習を初めたころの気持ちを思い出しやすくする。
- ・友だちから自分の頑張りや気持ちを聞くことで何を頑張っていたかを思い出しやすくする。

(考えの形成 記述ウ)

*ワークシート

- ・招待状の型に当てはめて書き進めやすいワークシートを使用する。
- ・日記から頑張りを取り出し、自分で選んでかけるようにしたワークシートを準備して書くための手助けを用意する。

(推敲エ) (共有オ)

*交流(いいところ・アドバイス・書き直し)

- ・文章を友だちと聞き合い、よいところやアドバイスを受け、文章の書き加えを行ってより伝わりやすい文章を目指す。

(言語活動ア)

*動画撮影(書くより言葉や動作表現が得意な児童)

- ・文章に表すより言葉で伝える方が得意な児童は、先に言葉で録画してから文章を起こすようにする。
- ・自分の頑張っている姿が写された写真を活用して、気持ちを表情・声・体(踊りやポーズ等)で表現できるようにする。

*動画撮影(全員撮影して家に持ち帰り、渡した相手に動画を見てもらう活動)

- ・自分の書いた文章を撮影する前に友だちと聞き合い、伝わりやすい声の大きさや話し方であるか伝え合うようにして練習を重ねる。
- ・自分の動画を見て文章や話し方が分かりやすく聞きやすいか見直す。